

黒潮大蛇行終息前後における福島県沿岸の海況

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

1 部門名

水産業－海洋生産－水温・塩分量

2 担当者名

有賀 陸

3 要旨

気象庁によると、黒潮大蛇行は7年9か月継続していたが、2025年4月に終息したとされている。黒潮大蛇行期の福島県海域における黒潮統流や親潮の波及状況が変化していることから、黒潮大蛇行終息後の福島県沿岸（50海里以内、図2）における海況変化をとりまとめた。

2022年10月～2025年3月の期間中、水深100mにおいて極めて高めに該当する水温が10回観測されたが、2025年4月以降の水深100mにおける水温は平年差 $-1.56\sim+0.09^{\circ}\text{C}$ の範囲で推移しており、極めて高めに該当する高水温は観測されていないことから(図1、表)、大蛇行終息後～2025年11月の期間において福島県沿岸への黒潮系暖水の影響が弱化していることが窺えた。

- (1) 2025年4月の表面、水深100m水温はそれぞれ $+2.52^{\circ}\text{C}$ 、 -0.42°C であり、福島県沿岸に親潮系冷水が確認された。冷水波及の影響で急激な低下があったものと考えられる。
- (2) 2025年7月以降の表面水温は $+2.42\sim+3.43^{\circ}\text{C}$ （やや高め～高め）と高め基調である一方、水深100m水温は $-1.56\sim-1.96^{\circ}\text{C}$ （やや低め～やや高め）と平年に近い水温で推移した。

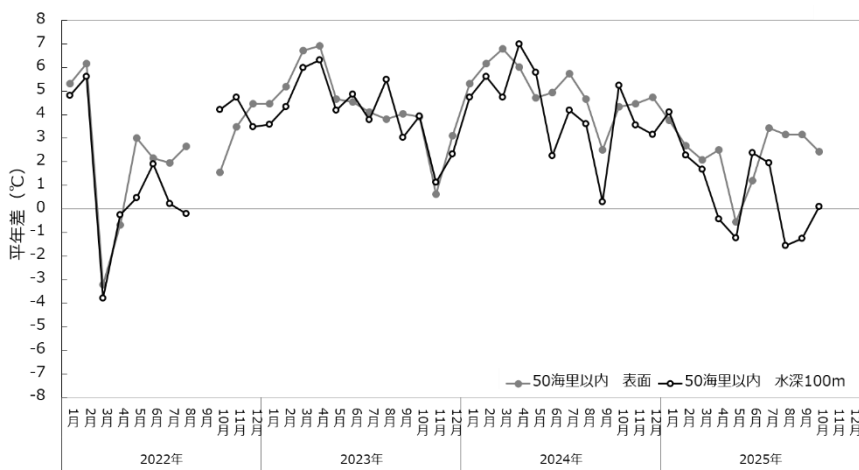


図1 福島県沖50海里以内の表面及び水深100mにおける平年差

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 海況予測技術に関する研究

5 主な参考文献・資料

気象庁, 黒潮大蛇行の終息について ～過去最長の7年9か月継続～, https://www.jma.go.jp/jma/press/2508/29a/20250829_end_of_kuroshioLM.html

表 平年差の目安

	表面	水深100m
極めて高め	$+4.2^{\circ}\text{C}\sim$	$+4.9^{\circ}\text{C}\sim$
高め	$+2.7\sim+4.1^{\circ}\text{C}$	$+3.2\sim+4.8^{\circ}\text{C}$
やや高め	$+1.1\sim+2.6^{\circ}\text{C}$	$+1.3\sim+3.1^{\circ}\text{C}$
平年並み	$-1.0\sim+1.0^{\circ}\text{C}$	$-1.2\sim+1.2^{\circ}\text{C}$
やや低め	$-1.1\sim-2.6^{\circ}\text{C}$	$-1.3\sim-3.1^{\circ}\text{C}$
低め	$-2.7\sim-4.1^{\circ}\text{C}$	$-3.2\sim-4.8^{\circ}\text{C}$
極めて低め	$-4.2^{\circ}\text{C}\sim$	$-4.9^{\circ}\text{C}\sim$

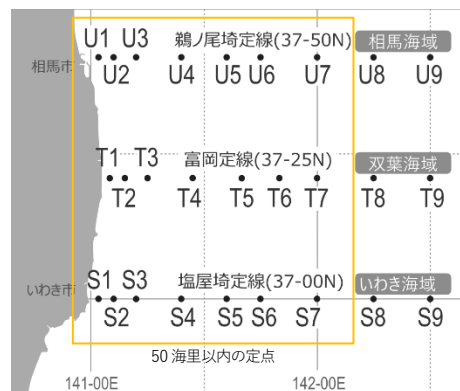


図2 福島県海洋観測定線